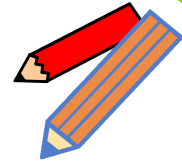


正しい鉛筆の持ち方は

ぱっくん くるりん

さぶとん ぴたっ

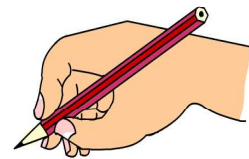


～鉛筆の持ち方の善し悪しが、子どもの学力を左右します～

間違った鉛筆の持ち方をしていると、
鉛筆の先が指に隠れて見えない。
無理な姿勢で見るので疲れる。
長時間鉛筆が持てない。
字をきれいに書きにくい。
漢字を正確に書きにくい。
計算ミスをしやすい。

など、学力に関わったいろいろな弊害が見られます。
鉛筆を3つの指できちんと支えているかチェックしましょう。

親指・人差し指・中指の三点支持

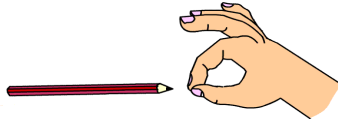


しつけ

「躰」とは、しつづけて身に付くもの！

鉛筆とお箸と彫刻刀の持ち方はみんな一緒です。
正しく持てるように練習しましょう。

鉛筆を机において、OKよ！



①鉛筆を机におく。左利きの方は左手の方に向けておく。

パッくん！

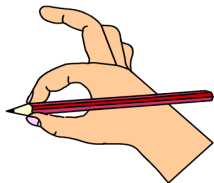


②削ってある部分の少し上を親指と人差し指でパッくんとはさむ。

くるりん！

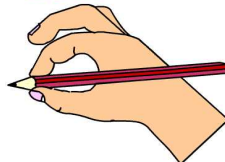


③鉛筆のはしを反対の手で持つ。



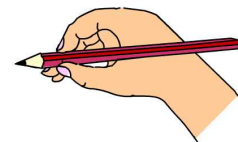
④くるりと180度回転させ寝かせる。

さぶとん



⑤中指を鉛筆の座布団にする。

さぶとん ぴたっ！



⑥その中指をぴたっとつけたら鉛筆の持ち方の完成。